

公共事業環境配慮書(案)

建設部 道路建設課

<b>事業名称</b>		
事業名	道路改築事業	
整理番号	27-1	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	上伊那郡 辰野町	
箇所名	北大出	
事業年度	平成26年度～平成32年度	
<b>事業概要</b>		
目的	当該地域周辺は高速道路、国道、県道及び農道の交通が集中し、慢性的な渋滞が発生しており、「道路見える化計画のイライラ箇所」にも位置付けられている箇所であるため、早期の渋滞解消に向けて道路改良を行う。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路改良工 L=1,250m W=6.5(12.5)m	
関連する事業計画	特になし	
その他特記事項	特になし	
<b>関係法令等の規制</b>		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	農振法の農業振興地域 文化財保護法の周知の埋蔵文化財包蔵地	
その他	なし	
<b>社会的要素</b> <span style="float: right;">留意すべき地域の概況</span>		
交通の現況	事業区域は、国道153号と並行、一般県道与地辰野線の現道、一般県道伊那箕輪線及び広域農道と交差し、周辺に伊北ICが位置する。 国道153号の交通量は16,676台/日、与地辰野線現道の現況交通量は1,837台/日、計画交通量は8,116台/日である。	
土地利用の現況	平野・田園である	
生活関連施設の現況	住居が点在している 周辺に羽北保育園がある 周辺に辰野南小学校がある(工事車両通行ルート外)	
その他	特になし	
<b>自然的環境要素</b> <span style="float: right;">環境配慮の方針</span>		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	<b>【大気汚染の防止】</b>	
	・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。	
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	<b>【騒音、振動の防止】</b>	
	・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。	
	・著しい騒音、振動を発生する工法を避ける。	
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
<b>【悪臭の防止】</b>		
・想定される影響はない。		

水環境	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【水質汚濁の防止】</b>	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	<b>【水循環の保全】</b>	
	・水田や地下水・湧水を保全する。	
地形・地質	留意すべき地域の概況	扇状地である
	<b>【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】</b>	
	・想定される影響はない。	
	<b>【改変面積の最小化】</b>	
	・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。	
	・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。	
野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	<b>【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】</b>	
	・想定される影響はない。	
	<b>【野生動植物の生息・生育空間の保全】</b>	
	・想定される影響はない。	
	<b>【動物の繁殖期における影響の低減】</b>	
	・想定される影響はない。	
<b>【地域独自の生物多様性の保全】</b>		
・想定される影響はない。		
<b>【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】</b>		
・想定される影響はない。		

景観	留意すべき地域の概況	特になし
	【すぐれた景観の保全】 ・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】 ・想定される影響はない。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】 ・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】 ・想定される影響はない。	
文化財等	留意すべき地域の概況	周知の埋蔵文化財包蔵地がある
	【文化財等への配慮】 ・工事施工範囲内について試掘、発掘調査を行い、発掘物の保全を図る。	
廃棄物・ 建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】 ・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。 ・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】 ・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】 ・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。 ・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
省資源・ 省エネルギー・ 温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】 ・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。 ・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。 ・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】 ・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	
日照障害・ 電波障害・ 光害	【日照障害への配慮】 ・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】 ・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】 ・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】 ・想定される影響はない	